



Japan Society of Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2013.7

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-6

CALENDAR カレンダー

会
告

期日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
2013年（平成25年）	
7/3～5（水～金）	第48回天然物化学談話会（大津）《協賛》
7/4（木）	千里ライフサイエンスセミナー「エピジェネティクス制御からの生命活動の理解とその展望」（大阪）
7/6（土）	第50回化学関連支部合同九州大会（北九州）
7/6（土）	中部支部 第167回例会「昆虫がつくるおもしろい有機化合物—その発見と展望・夢を語るー」（三重大）
7/6（土）	2013年度第1回日本農芸化学会関東支部例会受賞講演・シンポジウム「微生物の機能解析と応用への展開」（東農大）
7/6（土）	日本農芸化学会関西支部例会第480回講演会・ミニシンポジウム（阪府大）
7/6（土）	第25回万有札幌シンポジウム（北大）《協賛》
7/9～10（火～水）	日本包装学会第22回年次大会（東大）《協賛》
7/11（木）	食総研・産総研ジョイントシンポジウム 2013「その分析値は信頼できますか？—食品中の有害元素分析と精度管理—」（東京）
7/13（土）	平成25年度日本農芸化学会東北支部シンポジウム（東北大）
7/18（木）	“未来へのバイオ技術” 勉強会「バイオ燃料・バイオリファイナリー研究開発」における菌株育種とプロセス開発の潮流と最先端オミクス解析の活用による新展開」（東京）《協賛》
7/18～19（木～金）	セルロース学会第20回年次大会（京大）《協賛》
7/19（金）	平成25年度生物工学フォーラム「合成生物学は生物工学に資する技術か？」（東京農工大）《協賛》
7/19～20（金～土）	第26回日本Archaea研究会講演会（東工大）
7/29～8/1（月～木）	International Conference on Structural Genomics 2013—Structural Life Science—(ICSG 2013-SLS, 第7回国際構造ゲノム会議—構造生命科学)（札幌）《共催》
8/1～2（木～金）	日本ゾルーゲル学会第11回討論会（広島大）《協賛》
8/1～2（木～金）	千里ライフサイエンス振興財団平成25年度技術講習会（阪大）
8/5～7（月～水）	第32回日本糖質学会年会（大阪）《共催》
8/8（木）	FCCAセミナー／FCCAグライコサイエンス若手フォーラム 2013（阪大）《後援》
8/19～21（月～水）	第3回高校生バイオサミットin鶴岡（鶴岡）《後援》
8/23（金）	H25年度第2回油化学セミナー「サビにくい体にする抗酸化食品の健康調節機能」（弘前大）《協賛》
8/30（金）	第20回旬の技術・見学講演会「植物工場ビジネスの現在と未来」（千葉大）《協賛》
8/31（土）	向山アルドール反応40周年記念シンポジウム（東京）《後援》
9/5～6（木～金）	日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部および日本ビタミン学会近畿・中国四国・九州沖縄地区合同大会（2013年度合同広島大会）（県庁）《共催》
9/7（土）	中四国支部市民フォーラム「食と農を科学する—日本発の農芸化学・ビタミン学研究」（広島）
9/10～12（火～木）	第61回日本質量分析総合討論会（つくば）《共催》
9/10～12（火～木）	2013年度日本冷凍空調学会年次大会（東海大）《協賛》
9/12～13（木～金）	第30回シクロデキストリンシンポジウム（熊本）《共催》
9/12～14（木～土）	第51回粉体に関する討論会（松江）《協賛》
9/14～16（土～月）	第22回日本バイオイメージング学会学術集会（東大）《協賛》
9/14～18（土～水）	第12回ヒトプロテオーム機構国際会議（HUPO2013）（横浜）《後援》
9/18～20（水～金）	第55回天然有機化合物討論会（同志社大）《共催》

期日	講演・会合等名称(会場)、《共催等》、太字=本会関連
9/18~20(水~金)	第64回コロイドおよび界面化学討論会(名工大)《協賛》
9/19~20(木~金)	生命分子機能研究会2013学術集会「生命分子・ペプチド創薬の医療へのインパクト」(長浜バイオ大)《協賛》
9/22~26(日~木)	Enzyme Engineering XXII(富山)《共催》
9/23~27(月~金)	第15回全反射蛍光X線分析法(TXRF2013)および第49回X線分析討論会合同会議(阪市大)《協賛》
9/24~27(火~金)	13th International Conference on the Chemistry of Antibiotics and Other Bioactive Compounds(ICCA-13)(山梨)《共催》
9/25~26(水~木)	第11回高付加価値食品開発のためのフォーラム(裾野)《協賛》
9/25~27(水~金)	第61回レオロジー討論会(山形大)《協賛》
9/28(土)	ノーベル賞受賞者講演会—理系学生(学部・大学院・博士研究員)対象:根岸英一博士(東京)《協賛》
10/3~4(木~金)	第36回フッ素化学討論会(つくば)《共催》
10/4~8(金~火)	第10回アジア・太平洋キチン・キトサン国際シンポジウム並びに第27回キチン・キトサンシンポジウム(米子)《協賛》
10/5~7(土~月)	第57回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(埼玉大)《共催》
10/14~18(月~金)	第18回国際窒素固定会議(18th International Congress on Nitrogen Fixation)(宮崎)《共催》
10/17~19(木~土)	第43回複素環化討論会(岐阜)《共催》
10/25(金)	酵素工学研究会第70回講演会(東大)
10/28~29(月~火)	The 2nd International Symposium on Chemical Biology of natural products: target ID and regulation of Bioactivity(横浜)《協賛》
10/31~11/2(木~土)	第49回熱測定討論会(千葉工大)《共催》
11/2~5(土~火)	第4回Modern Solid Phase Peptide Synthesis & its Applications Symposium(SPPS 2013)(神戸)《協賛》
11/6~8(水~金)	第4回アジア太平洋国際ペプチドシンポジウム、第50回ペプチド討論会(大阪)《共催》
11/7~8(木~金)	第36回情報化学討論会(筑波大)《共催》
11/7~8(木~金)	第41回構造活性相関シンポジウム(関西学院大)《協賛》
11/7~8(木~金)	第12回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎—(東大)《協賛》
11/8(金)	第54回機器分析講習会(第3コース:食品を中心とした異物分析)(東京)《協賛》
11/12~13(火~水)	第58回リグニン討論会(高松)《共催》
11/14~16(木~土)	第54回高圧討論会(新潟)《協賛》
11/15~16(金~土)	第46回酸化反応討論会(筑波大)《共催》
11/16~17(土~日)	第19回ヒ素シンポジウム(九大)《後援》
11/16~17(土~日)	2013年日本化学会中国四国支部大会(広島大)
2014年(平成26年)	
1/24~25(金~土)	第25回ビタミンE研究会(鳥取)
3/27~30(木~日)	日本農芸化学会2014年度(東京)大会

会員の拡充にぜひともご協力を!!

本会では、(一般会員:会費年額10,000円、シニア会員:会費年額8,000円、教育会員:会費年額6,000円、学生会員:会費年額6,000円)および(維持会員:会費年額1口60,000円、団体会員:会費年間30,000円)の拡充を行っております。農芸化学に関係のある大学、官公庁、民間会社などの研究者、関係業務に従事して

いる方などがお知り合いにおられましたら、ぜひ本会への入会をご勧誘下さるようお願いいたします。入会の手続きなどの詳細につきましては、下記ホームページへアクセスして下さい。

◇URL <http://www.jsbba.or.jp/>

会費・購読料の納入にご協力下さい

本会会費・購読料のご納入につきまして

は、その年度の2月末に、納入のための振替用紙をお送りいたしております。会員の皆様は、この振替用紙を用い、会費・購読料をご納入下さいますようお願いいたします。

会費の未納は、学会誌などの送付・大会講演発表などに影響いたしますので、何卒速やかにご納入下さいますようお願い申し上げます。

農芸化学会 からの お知らせ

2014年度（平成26年度）大会のお知らせ

日本農芸化学会2014年度（平成26年度）大会を下記の予定で開催いたします。

会期：2014年（平成26年）3月27日（木）～30日（日）

会場：

【授賞式／受賞講演等】明治大学リバティータワー（〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1, http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html）

【懇親会】京王プラザホテル（〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1, <http://www.keioplaza.co.jp/>）

【一般講演・展示会・シンポジウム・ラ

ンチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等】明治大学生田キャンパス（〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1, http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ikuta/campus.html）

授賞式、受賞講演等、懇親会：2014年3月27日（木）

一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等：2014年3月28日（金）～30日（日）

一般講演申込（要旨投稿）WEB受付期間：2013年11月1日（金）～2013年12月6日（金）正午（予定）

大会参加申込WEB受付期間：2013年12月6日（金）午後～2014年1月17日（金）（但事前料金）（予定）

月6日（金）午後～2014年1月17日（金）（但事前料金）（予定）

当日参加申込WEB受付期間：2014年3月3日（月）～2014年3月30日（日）（但当料金）（予定）

プログラム集（冊子体発行）：2014年2月25日（火）

講演要旨集（WEB上の公開）：2014年3月5日（水）

大会実行委員会：[委員長] 正木春彦（東京大学大学院農学生命科学研究所）[副委員長] 星野貴行、中島春紫〔総務〕渡邊秀典

未来社会を支える“農芸化学”の新技術と学術融合 日本農芸化学会2014年度大会シンポジウム課題の募集

日本農芸化学会2014年度大会は2014年（平成26年）3月27日（木）～30日（日）の4日間、明治大学生田キャンパス（川崎市多摩区）を主会場として開催されます。大会最終日3月30日（日）に、1課題約3時間の枠でシンポジウムを開催予定です。つきましては、シンポジウム課題を広く会員の皆様に公募し、約25課題を採択します。課題のご提案にあたりまして、以下の大会シンポジウム指針を参考にしてください。

農芸化学は、これから迎える新しい社会を生命・食糧・環境の分野から支えるべく広い研究分野を結集し、生命の理解と天然物・医農薬・食品の応用を目指しています。本大会では、少子高齢化が進行する中での明るい未来へ向けた胎動を感じさせる内容をもつシンポジウムを募集いたします。そこでたとえば、

- ◎伝統的な学術分野と時代に即した学術領域の融合
- ・最先端分析機器・手法による農芸化学研究の新展開（次世代シーケンサー、オミクス、LC/MS、NMRなど）
 - ・微生物醸酵生産の新展開（先端技術を用いた新しい醸酵生産）
 - ・創医薬と創農薬（天然物化学や植物科学を活かしたアプローチ）
 - ・食品学と栄養学におけるニューテクノロジーの活用と医学・工学・薬学との連携

◎世界的にユニークな農芸化学研究

- ・基礎科学から産業化への死の谷の克服
- ・世界をリードする農芸化学における微生物研究

◎その他

- ・東日本大震災復興における農芸化学の役割
- などを中心として、農芸化学の広範な分野および領域横断的な課題の応募を期待します。また、若手会員からの積極的な応募も期待します。

提案いただいたシンポジウム課題は、シンポジウム委員会で決定の後、8月末頃までに課題応募者宛てに採否を連絡いたします。

その他の不明な点は、シンポジウム担当までお問合せください。

【シンポジウム課題公募要領】

応募期限：2013年7月31日（水）

公募申請に必要な記載事項：1) 課題（仮題でも可）、2) 世話人の氏名・所属・年齢（2～3名）、3) 企画趣旨と概要（400字程度）、4) 講演者案（氏名・所属・会員と非会員区分）、5) 海外講演者の有無、6) 予想される聴衆人数、7) 希望会場規模〔99人収容の会場でも可〕または〔100人収容以上の会場を希望〕、8) その他の参考となる事項、9) 世話人代表者（国内正会員）の氏名と連絡先（郵便番号、所在地、所属、電話番号、ファックス番号、E-mailアドレ

ス)

応募先：代表者宛にお送りください。

※メールの件名を、「農芸化学会シンポジウム応募」として
送信ください。折り返し受領通知をお送りします。受領
通知がない場合は再度送付ください。

問合せ先：[シンポジウム担当] 代表：浅見忠男（東京大学
大学院農学生命科学研究科内）E-mail: asami@mail.ecc.u-

tokyo.ac.jp；副代表：作田庄平（東京大学大学院農学生命
科学研究科），加藤久典（東京大学大学総括プロジェクト），
高橋伸一郎（東京大学大学院農学生命科学研究科），葛山智
久（東京大学生物生産工学センター），尾仲宏康（東京大学
大学院農学生命科学研究科）

参考URL: <http://www.jsbba.or.jp/event/annual/>

本会推薦による賞・助成金情報

適任者がおられましたら奮ってご応募く
ださい。本会授賞選考委員会で選考し、推
薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集
団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成情
報 (<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>)
もご覧ください。

【賞】

○第5回とうきゅう環境財団社会貢献学術
賞 (7/31締切)

対象：日本の環境分野において学術的、
社会的に特に顕著な業績を挙げた研究者
(企業は除く)

褒賞：賞状、賞金50万円

○第40回岩谷直治記念賞 (7/31締切)

対象業績：学会・協会および研その他の研
究機関等が、次の項目に関し優れた技術
開発でかつ産業上の貢献を認めた業績
①生産プロセスの合理化によるエネルギーの有効利用、効果的な環境保全の達成
②エネルギーおよび環境に対する独創的な技術の開発 ③エネルギーおよび
環境に関連した新素材、バイオ新技術およびエレクトロ新技術の開発

褒賞：賞状、賞牌および賞金300万円

○第30回井上學術賞 (8/20締切)

対象：自然科学の基礎的研究で特に顕著
な業績をあげた研究者（ただし、2013年
9月20日現在50歳未満の者）

褒賞：賞状、金メダル、副賞200万円

○平成25年度島津賞 (8/30締切)

対象：科学技術、主として科学計測およ
びその周辺の領域における基礎的な研究
において、近年著しい成果をあげた功労
者

褒賞：賞状、賞牌、副賞300万円

○第45回内藤記念学術振興賞 (8/30締切)

対象：人類の健康の増進に寄与する自然
科学の基礎的研究において、独創的な
テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功
績を挙げた研究者

褒賞：金メダル、副賞1,000万円

○第3回三島海雲学術賞 (8/30締切)

対象：食の科学に関する研究

候補者資格：国内外の学術誌等に公表され
た論文、著書、その他の研究業績により
独創的で発展性のある顕著な業績を挙げ
ている45歳未満（平成26年4月1日現
在）の日本在住の研究者（国籍問わず）

および海外在住の日本人研究者

褒賞：副賞200万円

○第22回木原記念財団学術賞 (8/30締切)

対象：最近において生命科学の分野で優
れた独創的研究を行っている国内の研究
者で、50歳以下（平成25年9月30日現
在）の方

贈呈：賞状、賞金200万円

【助成】

○第41回内藤記念講演助成金 (7/19締切)

対象：自然科学の基礎的研究に関する国
内で開催される国際会議の開催に關して
費用を補助する。

助成額：上限50万円

○第45回内藤海外学者招聘助成金 (8/30
締切)

対象：人類の健康の増進に寄与する自然
科学の基礎的研究を行う外国の研究者を
招聘する際の費用を補助する。

助成額：20～80万円

《問い合わせ・応募先》 〒113-0032 東京都
文京区弥生2-4-16 学会センタービル
内 日本農芸化学会事務局授賞係

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: shomu@jsbba.or.jp

メールアドレス登録のお願い

本会では、マーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備
を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、
会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じ
ます。

本会庶務係 (shomu@jsbba.or.jp) まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げま
す。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化
通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

講演会等の開催補助について

日本農芸化学会学術活動強化委員会では、会員を開催責任者とする、農芸化学および関連分野のセミナー・シンポジウム・講演会等の学術集会へ、下記の補助を行っております。補助をご希望の方は、shomu@jsbba.or.jpまでご連絡ください。申請書をお送りいたします。お送りいただきました申請書は、学術活動強化委員会にて選考いたします。

		国際学術集会		国際学術集会	
カテゴリー		A-1) 外国人等講演会	A-2) 国際シンポジウム	B-1) 敷田講演会	B-2) 敷田セミナー
申請者		正会員			
補助対象		単数または少数の来日中の外国人研究者（外国在住の日本人を含む）の講演にかかる費用	比較的小規模の国際会議等の招聘外国人研究者の招聘および会議にかかる費用	本学会員以外の日本人研究者による個人講演会にかかる費用	日本人研究者数名によるセミナー、シンポジウムにかかる費用
補助内容	国内旅費	実費	実費（外国人等のみ）	実費	実費
	海外渡航費	不可	可（外国人等のみ）		
	宿泊費	1万円まで／泊 (一泊以内)	1万円まで／泊 (外国人等のみ)	1万円まで／泊 (一泊以内)	1万円まで／泊 (一泊以内)
	謝礼	2万円まで／人 (20.42%の源泉所得税が課せられます)		2万円まで／人 (10.21%の源泉所得税が課せられます)	
	その他	不可	ポスター、会場費、要旨代、アルバイト代等	不可	ポスター、会場費、要旨代、アルバイト代等
申請額目安 ^(注1)		2~5万円／件 (1人あたり)	20~40万円／件 (補助限度50万円／件)	2~5万円／件	5~40万円／件 (補助限度50万円／件)
補助対象外		・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの	・毎年あるいは隔年、連続して開催されるもの ・大規模（招聘渡航費以外が300万円以上）な国際会議の経費の一部となるもの	・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの ・支部が開催補助すべきと判断されるもの	・毎年あるいは隔年、連続して開催されるもの ・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの
申請締切		随時受付（ただし原則として開催1カ月前まで）	前期：4月30日 後期：10月31日 (原則として申請時より6カ月~2年後に開催されるもの)	随時受付（ただし原則として開催1カ月前まで）	前期：4月30日 後期：10月31日 (原則として申請時より6カ月~1年5カ月後に開催されるもの)

(注1) 遠方からの演者に対する旅費が高額になる場合は、上限以上の補助を認める場合がある。

※外国人等：外国在住の日本人を含む

問合せ先：日本農芸化学会事務局庶務係 (Tel. 03-3811-8789, E-mail : shomu@jsbba.or.jp)

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかわる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1~2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

(PDF)にてお申込み下さい。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階 Tel. 03-3811-8789 E-mail:soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

正会員（一般会員・シニア会員・教育会員）、学生会員各位へ 会費および購読料について

2013年度会費・購読料のご納入について、2013年3月、6月、11月に振替用紙をお送りいたします。また、口座引落（銀行・郵便）につきましては、2013年（平成25年）3月1日引落になっております。
《ご注意》2012年度（平成24年度）会費、購読料をご納入いただいている会員の方には、2013年度会費との合計金額を印字した振替用紙をお送りいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 新入会・登録情報変更などの URLについて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
新規入会、登録情報確認・変更のURLは下記のとおりです。
 登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。
 ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を



第50回化学関連支部合同 九州大会研究発表募集

共催：日本農芸化学会西日本支部ほか7化学関連支部
期日：平成25年7月6日（土）
会場：北九州国際会議場およびAIMビル（北九州市小倉北区浅野3-9-30）
プログラム：[第50回記念特別講演] 玉尾皓平先生 ((独)理化学研究所基幹研究所所長), 神谷信夫先生 (大阪市立大学複合先端研究機構教授)
発表申込期間：平成25年3月1日（金）～4月15日（月）
予稿原稿締切：平成25年5月20日（月）
 申し込み方法、予稿原稿の執筆要領およびプログラムの詳細は今後、大会ホームページ (<http://www.moji-retro.net/godo50/>) で公開します。

中部支部 第167回例会

開催日：2013年7月6日（土）13:00～
会場：三重大学生物資源学部
受賞講演：竹村 浩（ミツカン）「納豆菌の系統的育種による商品の差別化と品質向上」
シンポジウム：『昆虫がつくるおもしろい有機化合物—その発見と展望・夢を語る—』鎌倉昌樹（富山県大・工）「ミツバチ

なお、会費が納められていない場合は入金が確認されるまで、学会誌の送本を一時停止しています。

○退会を希望される方へ

退会を希望される方は、文書（ハガキ、Fax [03-5803-9562, 会員係あて], E-mail [kaiin@jsbba.or.jp]）で会員名・会員番号（ID）・簡単な退会理由を明記のうえ、退会届を出していただいております。なお、Webからも退会申請ができます。下記のURLを参照の上、お手続き下さい。

○会員関係問合せ先：Tel. 03-5803-9561

2013年度（平成25年度）会費および購読料

会員種別	会費(年)	BBB購読料(年)
正会員	一般会員	10,000円
	シニア会員	8,000円
	教育会員	6,000円
学生会員	6,000円	5,560円
団体会員		30,000円
維持会員		1口60,000円

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないよう十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない個所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいているようでしたら是非ご登録下さいますようご協力下

さい。
 [日本農芸化学会ホームページURL]
<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行って下さい。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。
《事務局会員係》 Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp

矢嶋俊介
 E-mail: yshun@nodai.ac.jp

日本農芸化学会関西支部例会 第480回講演会・ ミニシンポジウム

日時：2013年7月6日（土）13:00～
会場：大阪府立大学学術交流会館（大阪府堺市中区学園町1-1）

プログラム：【ミニシンポジウム】『重力にあらがう—動植物の支持組織と力学応答』硬組織におけるメカニカルストレスの作用（石橋 宰, 大阪府大院・生命環境）、筋肉機能の維持・増進に有効な食品素材の開発（大野木 宏, タカラバイオ（株）・バイオ研究所）、植物の抗重力反応（保尊隆享, 大阪市大院・理学）【農芸化学奨励賞受賞講演】酵母発現系を用いたハイスクループット構造生物学（水谷公彦, 京大院・農）【一般講演】

一般講演申込期間：5月7日（火）～6月7日（金）

要旨締切：6月14日（金）

参加費：無料

懇親会：一般講演終了後

問合せ先：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 山地亮一（Tel. 072-254-9453）
 E-mail: yamaji@biochem.osakafu-u.ac.jp
 詳細は <http://www.jsbba-kansai.jp/> をご覧ください。

平成25年度 日本農芸化学会 東北支部シンポジウム

講演題目：生理活性分子と動物の行動・生理・発生の制御に関する先端研究
開催日時：平成25年7月13日（土）
場所：東北大学農学部第一講義室
世話人：西森克彦（東北大学大学院農学研究科）
連絡先：Tel. 022-717-8770, E-mail: knishi.mori@m.tohoku.ac.jp
詳細は、決定次第支部ホームページ上でご案内いたします。

2013年度（平成25年度） 日本農芸化学会 東北支部奨励賞および 東北支部若手奨励賞候補者の募集

【東北支部奨励賞】

応募資格：申請時に3年以上継続して日本農芸化学会員であること、および本年4月2日現在で満45歳以下であり、主たる研究の場が東北支部内であること。

【東北支部若手奨励賞】

応募資格：申請時に1年以上継続して日本農芸化学会員であること、本年4月2日現在で満30歳以下であり、東北支部内の大学・大学院・高等専門学校等に学生、研究生、博士研究員、あるいは任期付教員として在籍していること。応募書類、提出方法については支部ホームページ (<http://www.agri.tohoku.ac.jp/jsbba-tohoku/index.html>) をご覧ください。

締切：2013年8月30日（金）

提出先：〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 東北大学大学院農学研究科分子生物学分野 日本農芸化学会東北支部長 西森克彦

日本農芸化学会関西・中四国・ 西日本支部および 日本ビタミン学会近畿・ 中国四国・九州沖縄地区合同大会 (2013年度合同広島大会)

日時：2013年9月5日（木）13:00～17:30、
9月6日（金）9:00～17:00

会場：県立広島大学広島キャンパス教育研究棟2（広島市南区宇品東1-1-71）

※広島駅から市内電車5番 広島港（宇品）
行きにて「県病院前」下車

プログラム：第1日目・特別講演（13:00～15:00）、2013年度日本農芸化学会賞受賞講演 重岡 成（近畿大農）、伏木 亨（京大院農）；日本農芸化学会功績賞受賞講演 久原 哲（九大院農）、西田律夫（京大院農）・シンポジウム（15:10～17:30）。テーマ1. 食品成分の機能性評価と応用研究；テーマ2. 藻類、微生物によるエネルギー・食糧生産と魚介資源の安全確保：諸課題と未来への展望・懇親会（18:30～20:00）

第2日目・一般講演（9:00～17:00）発表10分、質問2分の予定

講演申込方法：E-mailにて、事務局〈nouka_chushi@okayama-u.ac.jp〉宛にお申し込みください。申込の際には、件名を「合同広島大会：講演申込」として、本文に演題名、全発表者名（演者に○）、所属略称名、カテゴリー、連絡先住所、氏名、E-mail

アドレスをお書きください。カテゴリーは、「栄養・食品・ビタミン」、「天然物・有機化学」、「生物化学」、「遺伝子・微生物」、「植物、環境科学、その他」の5つから1つを選んでください。

講演申込締切：2013年7月12日（金）17:00

※講演要旨作成要領等の詳細は、中四国支部ホームページ (<http://jsbba-cs.jp>) にリンク予定の「合同広島大会2013」ホームページをご覧ください。

要旨締切：2013年7月26日（金）17:00 要旨提出専用アドレス：jsbba2@net-s.ne.jp

懇親会参加申込方法：7月26日（金）17:00までに、E-mailで事務局〈nouka_chushi@okayama-u.ac.jp〉までお申し込みください。申込の際には、件名を「合同広島大会：懇親会申込」として、本文に懇親会参加希望者名、一般・学生の区別、代表者E-mailアドレスをお書きください。

連絡先：2013合同広島大会実行委員会
広島県庄原市七塚町562
県立広島大学（委員長：武藤徳男 E-mail:muto@pu-hiroshima.ac.jp）

中四国支部市民フォーラム 「食と農を科学する—日本発の 農芸化学・ビタミン学研究」

日時：9月7日（土）10:00～12:30

会場：中国新聞ホール（広島市中区土橋町7-1）

講師は、伏木 亨（京大院農）、福澤健治（安田女大薬）、森永 力（県立広島大生命環境）の予定です。詳細は中四国支部ホームページ (<http://jsbba-cs.jp>) をご覧ください。

会員の皆様へお知らせとお願い個人の賛助金（任意）に関する内規の制定と適用について

（公益社団）日本農芸化学会理事会

2. 賛助金は一口5,000円とし、一口以上を申し受ける。

3. いただいた賛助金は、定款第54条（寄付金の受領）の規定に基づき処理する。

4. この内規は2003年度（平成15年度）から適用する。

5. お振込み先：振替口座東京00100-5-68187 社団法人日本農芸化学会

※郵便局備え付けの振替用紙をご利用いただいても結構です。

※通信欄にかならず「賛助金」

とご記入下さい。

日本農芸化学会の財政は近年赤字基調となり、2001年度は約875万円（正会員1人当たり800円）、2002年度は約1,500万円（正会員1人当たり1,470円）の赤字を出しております。

このため2003年度第47回通常総会に会費値上げを提案いたしました。健全財政にするためには、会費収入、広告収入など収入増を図る努力とともに欧米の学会でみられるような善意の寄付金の受入れも大変重要です。

そこで、個人の賛助金に関する下記の内規を、2002年10月2日の理事会と全国評議員会の議を経て制定いたし

ました。2003年度から適用されます。

会員の皆様におかれましては、学会は会員が支えるものであるという原点にたちかえり、本年度もひき続きご協力下さいますようお願い申し上げます。

個人の賛助金（任意）に関する内規

第275回（2002年10月2日）理事会承認

第109回（2002年10月2日）全国評議員会承認

個人の賛助金（任意）に関し、以下のよう

に定める。

- 対象はご協力いただける正会員（一般会員・名誉会員・有功会員・シニア会員・教育会員）とする。